

## (一般質問)

質問日	令和6年3月12日(火)		質問方式	分割方式			
質問順位	9	会派名	自由民主党浜松	議席番号	13	氏名	中野 和幸
表 題	質 問 内 容					答弁者の職名	
1 浜名湖の観光について	<p>観光は、本市の力強い経済を取り戻すための極めて重要な成長分野である。今後、人口減少・少子高齢化が見込まれる中、本市の観光需要を喚起するとともに、地域経済の活性化、雇用機会の増大などにつなげていくことが重要である。本市は、海、湖、山、川と多彩な自然に囲まれているほか、徳川家康ゆかりの浜松城などの歴史遺産、楽器や自動車をはじめとする産業観光施設も充実するなど、様々なジャンルの観光スポットが豊富である。特に海水と淡水が混じり合う汽水湖である浜名湖は、温暖な気候とミネラル豊富な水質により、ウナギやノリの養殖をはじめ、800種類以上もの魚介類が生息し、湖としては日本一の漁獲量を誇る恵み豊かな場所である。人口減少の中、浜名湖という貴重な地域資源を活用し、浜名湖周辺地域の活性化を図ることが重要と考える。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 2009年度に観光庁から認定を受けた「浜名湖観光圏整備計画」は5年毎に更新を受けてきたところであるが、次回更新を見送ることを決定した。 ア 更新を見送ることにした経緯を改めて伺う。 イ 「浜名湖観光圏整備計画」に定めている基本的事項の取り扱いについて伺う。</p> <p>(2) (公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューローが策定した2024年度から2028年度の「海の湖観光戦略」の位置づけや、実現に向けた市の関わり方について伺う。</p> <p>(3) 自然・文化といった本市の豊富な地域資源を観光コンテンツとして活用し、本市の本質を深く体験・体感できるアドベンチャートラベルを推進することで、安全・安心な目的地として世界の旅行者に来訪・滞在を促すことは重要と考えるが、本市としてどのように考えるのか伺う。</p>					齊田観光・ブランド振興担当部長	
2 浜名湖の水産資源について	<p>浜名湖は天然魚の漁業や釣りのほか、ウナギ、ノリ、カキ、スッポンなどの養殖も盛んである。浜名湖独特の伝統的なたきや漁も有名で、ワタリガニ、クルマエビ、スズキ、クロダイ、カレイなど多様な魚類が採取されている。潮干狩りでも利用され、主としてアサリが採取される。</p> <p>しかし、アサリ漁獲量は近年大きく減少している。そのため、潮干狩りも制限され、アサリの採貝業者などは</p>					清水農林水産担当部長	

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>ひっ迫した現状である。そして、浜名湖全体のほかの水産資源も同様に減少していると思われる。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) アサリの資源確保に向けて「浜松ホトニクス」と「浜名漁協」の連携による育成事業が行われているが、減少を食い止めるためには、クロダイによる食害対策も必要と考えられている。育成事業と食害対策の現状と今後について伺う。</p> <p>(2) 浜名湖全体の水産資源の傾向と水産資源確保に向けた取組について伺う。</p>	
3 アリモドキゾウムシについて	<p>昨年度に引き続き篠原地区でアリモドキゾウムシが発見され、玉ねぎの裏作としてサツマイモの栽培を行うことができない状態になっている。</p> <p>また今後もアリモドキゾウムシが発見される可能性があり、その場合、防除期間が継続し、その結果、サツマイモ農家が減少し産地の縮小につながる恐れもある。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) アリモドキゾウムシの現状について伺う。</p> <p>(2) アリモドキゾウムシの緊急防除区域の設定と補償について伺う。</p>	清水農林水産担当部長
4 舞阪駅周辺地区について	<p>浜松市総合計画 基本計画の分野別計画において、「市民が集う活力ある都市づくり」として、鉄道駅周辺や公共交通がある基幹道路周辺に、居住や医療・福祉施設、子育て支援施設などの都市機能を集積する誘導エリアを設定し、都心を含めたエリアへの居住の推進などをビジョンとして示している。</p> <p>今回の花博に合わせ、地域では、まちづくりへの期待が高まっている。</p> <p>そこで、都市計画における舞阪駅周辺地区の位置づけ及び今後についての考えを伺う。</p>	井熊都市整備部長
5 マンホールトイレについて	<p>過去の地震において被災した場合、トイレが使えなくなることが多く、仮設トイレや簡易トイレなどで対応しているが、衛生面や利便性などに問題があり、健康被害が発生し問題になっている。</p> <p>本市では、避難者の健康被害を防ぐため、避難所に水洗式のマンホールトイレの整備を進めており、すでに整備された篠原小学校では、防災訓練時にマンホールトイレを利用した訓練を実施している。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 避難所に設置されているマンホールトイレについて、防災訓練時に実施している訓練の状況を伺う。</p>	石田危機管理監

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	(2) 被災時に断水や避難所の下流部の下水道施設が使えない事態が発生した場合におけるマンホールトイレの利用について伺う。	内藤水道事業及び下水道事業管理者
6 スタートアップについて	<p>スタートアップ事業は、これまでにない技術やアイデアによりサービスや製品を提供し、新しい市場を開拓し、本市を変えていくイノベーションの源泉であり、スタートアップの活躍が本市成長のエンジンである。</p> <p>このため、より多くのスタートアップが生まれるように支援していくことやそのスタートアップがより早く、より大きく成長すること、そして、若い世代のスタートアップの起業家を育成することも大変重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 本市では2016年に「浜松バレー構想」を打ち出し、2020年に「スタートアップ・エコシステムグローバル拠点都市」として、内閣府から選定を受けたところであるが、これまでの実績や課題について伺う。</p> <p>(2) これまでスタートアップ事業を推進している中で、本市にとって、どのような経済効果があったのか伺う。</p> <p>(3) 未来のビジネスリーダーとイノベーターを育て、新しいビジネスが地域に根付くことが地域活性化に大きく寄与するため、若い世代を育成することは重要と考えます。本年度から新たに次世代スタートアップ育成事業がスタートしたが、その成果の見込み及び今後の展開について伺う。</p>	川路スタートアップ推進担当部長